

■決算概要

平成29年度の一般会計の決算額は、歳入が249億4,198万円、歳出が242億27万円で、翌年度へ繰り越すべき財源1億3,806万円を差し引いた実質収支は6億365万円の黒字となりました。

平成29年度決算の特徴として、新クリーンセンターや庁舎・振興事務所、南部学校給食センターの整備などの大型事業の実施により、歳入歳出ともに前年度より大幅な増額となりました。

歳入は、前年度に比べ28億7,902万円の増となりました。これは、各種補助事業の実施に伴う国庫支出金の増、新クリーンセンターや庁舎・振興

事務所、南部学校給食センター整備の実施に伴う地方債および財政調整基金からの繰入の増などによるものです。一方で、普通交付税の段階的縮減などにより地方交付税が2億4,531万円の減額となりました。

歳出は、前年度に比べ27億8,842万円の増となりました。これは、前述の大型建設事業の実施に伴う普通建設事業費の大幅な増や、中学生学校給食費の負担軽減の財源に充てるための子育て応援基金、消防防災施設整備等の財源に充てるための消防防災基金への積立てなどによるものです。

【財務課】

目的別に見た歳出の状況



保育施設の運営や、高齢者や障がい者、生活困窮者などの福祉施策に使われます。



市役所や市民会館などの運営、税金の徴収や住民票の発行、広報げろの発行などに使われます。



市民の健康増進やごみの処理などに使われます。



大きな施設や道路をつくるときに、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。



道路や橋の整備、公園や市営住宅の管理などに使われます。



学校教育や社会教育の実施、小・中学校や体育館、公民館、図書館の管理運営などに使われます。



農業や林業、水産業を振興する事業などに使われます。



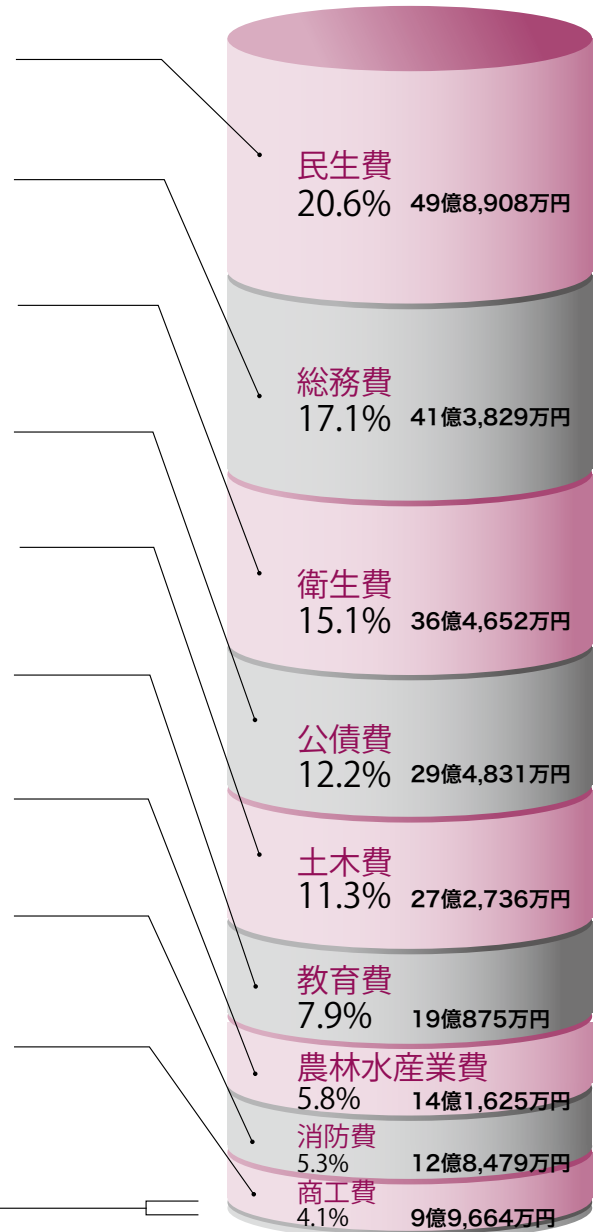
消防車や救急車の管理や消防署の整備、消防団の運営などに使われます。



観光の振興や観光施設の管理、商店街や中小企業を応援する事業などに使われます。

議会費	0.5%	1億1,859万円
労働費	0.1%	1,692万円
災害復旧費	0.1%未満	877万円

歳出合計 242億27万円

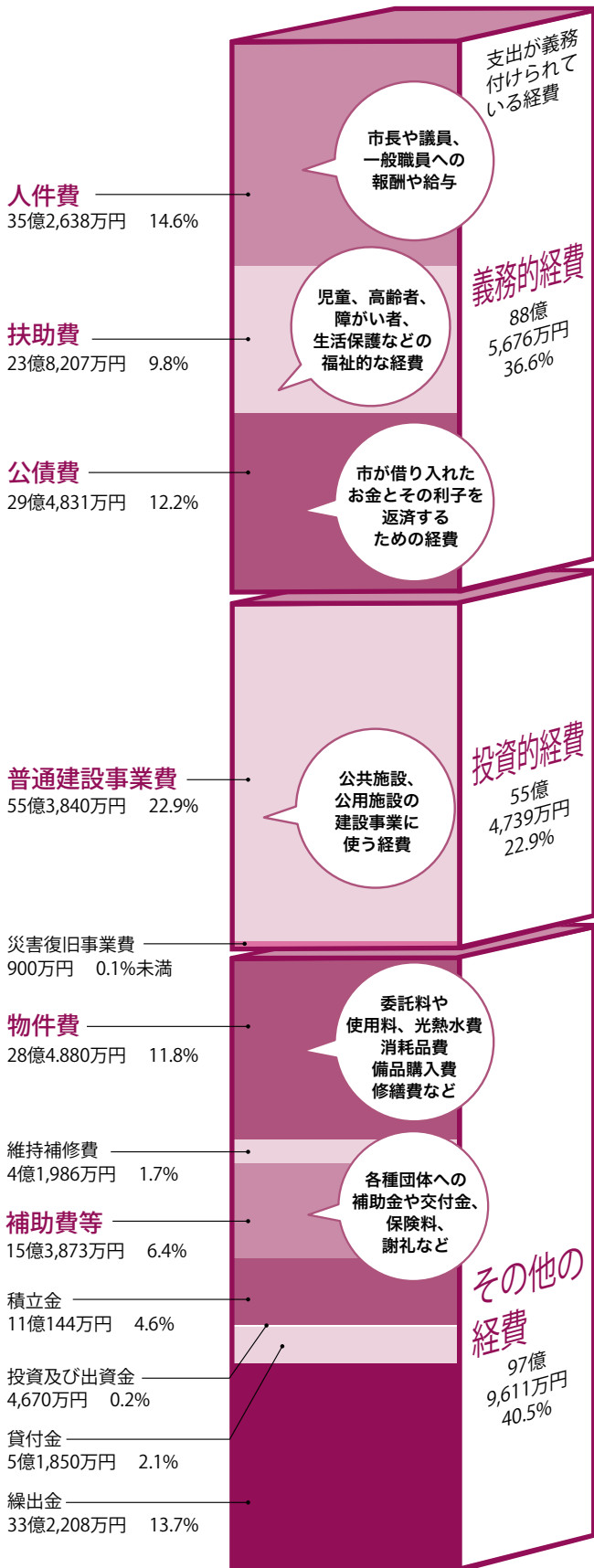


一般会計 歳入歳出の状況

※額は千の位を四捨五入し万単位としていますので、合計と一致しない場合があります。

● 歳出 (1年間の全ての支出)

歳出合計 242億27万円



● 歳入 (1年間の全ての収入)

歳入合計 249億4,198万円

